

令和6年度全国学力・学習状況調査結果と今後の指導について（詳細版）

小豆島町教育委員会

1 調査の概要

(1) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査の対象（悉皆調査）

- ① 小学校調査 小学校第6学年
- ② 中学校調査 中学校第3学年

(3) 調査事項

- ① 教科に関する調査 小学校（国語、算数） 中学校（国語、数学）

【出題内容】

- ア 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- イ 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

【調査問題】

- 上記アとイを一体的に問う。
- 記述式の問題を一定割合で導入する。

- ② 質問調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査	学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問調査

(4) 調査実施日

令和6年4月18日木曜日

(5) 調査を実施した児童生徒数

- ① 小学校調査 4校 82人
- ② 中学校調査 1校 83人

(6) 結果の公表と活用についての方針

- ① 小豆島町教育委員会では、調査結果を分析し、本町の児童生徒の全般的な学習状況の改善等につなげていく。調査により測定できるのは、学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることを踏まえ、序列化や過度な競争が生じないよう数値による数値による結果の公表は行わず、全体的な傾向を文章でまとめ、公表する。
- ② 小豆島町教育委員会は、分析結果を今後の教育施策・事業等に反映していく。

2 小豆島町の児童生徒の調査結果の概況

- 全国（公立）の平均正答率との差が1ポイント以上の場合・・・「**上回った**」「下回った」
- 全国（公立）の平均正答率との差が1ポイント未満の場合・・・「ほぼ同じ」

(1) 教科に関する調査の全体的な状況

- ① 小学校
- 国語・・・全国（公立）の平均正答率とほぼ同じ
 - 算数・・・全国（公立）の平均正答率を**上回った**
- ② 中学校
- 国語・・・全国（公立）の平均正答率とほぼ同じ
 - 数学・・・全国（公立）の平均正答率とほぼ同じ

(2) 学力・学習状況の傾向と今後の指導で大切にしたいこと

- ① 小学校

ア 国語（14問）

出題問題について ○・・・良好な内容 ●・・・課題と考えられる内容

学習指導要領の領域等と結果	出題の趣旨
【言葉の特徴や使い方に関する事項】 全国（公立）の平均正答率を <u>下回った</u>	○話し言葉と書き言葉との違いに気付くことができるかどうかをみる。 ○文の中における主語と述語との関係を捉えることができるかどうかをみる。 ●学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。
【情報の扱い方に関する事項】 全国（公立）の平均正答率を <u>下回った</u>	●情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる。
【我が国の言語文化に関する事項】 全国（公立）の平均正答率を 上回った	○日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができるかどうかをみる。
【話すこと・聞くこと】 全国（公立）の平均正答率を 上回った	○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる。 ○目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる。
【書くこと】 全国（公立）の平均正答率とほぼ同じ	○目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる。 ●目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。
【読むこと】 全国（公立）の平均正答率を 上回った	○人物像を具体的に想像することができるかどうかをみる。 ○人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかどうかをみる。 ●登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができるかどうかをみる。

今後の指導で大切にしたいこと

学習指導要領の領域等	授業改善の視点
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いや発表の際に、学年に合った話型を提示したり、伝わりやすい話し方について確認したりすることで、より伝わりやすい話し方ができるようにする。 ・漢字の学習の際には、音訓の読みだけではなく、意味も理解し、同音異義語を区別できるようにする。
【情報の扱い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の情報を集め、自分の考えを伝えるために情報を整理する活動の際に、ICT機器を活用したり、ノートの記し方に工夫を加えたりして、視覚化することの良さに気付かせる。
【我が国の言語文化に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・日常から読書に親しむ時間を確保するだけでなく、各教科の授業において、読書が自身の学習に役立っていることを実感できるような指導を行う。
【話すこと・聞くこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・読み手に伝えたいことの内容を中心に情報を整理する指導を充実させ、個人の活動にとどめるのではなく、グループ活動を通して話し合ったり吟味したりすることで整理する力を身に付けられるようにする。 ・資料を活用して伝える際に、写真や実物を提示して紹介する活動を充実させ、体験的に学習することができるようにする。
【書くこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科の授業において、理由とともに自分の考えを表現する機会を設定することで、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるようにする。
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉や表現の意味を考える機会を設けるようにすることで、語彙を増やすことができるようにする。 ・他者との交流によって様々な考えに触れることで、人物像や物語の全体像をより豊かに想像することができるようにする。

イ 算数（16問）

出題問題について

○・・・良好な内容 ●・・・課題と考えられる内容

学習指導要領の領域等と結果	出題の趣旨
【数と計算】 全国（公立）の平均正答率を上回った	<ul style="list-style-type: none"> ○問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる。 ○計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる。 ○除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係について理解しているかどうかをみる。 ○除数が小数である場合の除法の計算をすることができるかどうかをみる。 ○示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断できるかどうかをみる。 ●数量の関係を、□を用いた式に表すことができるかどうかをみる。

<p>【図形】 全国（公立）の平均正答率とほぼ同じ</p>	<p>○直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解しているかどうかをみる。</p> <p>○角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる。</p> <p>●直方体の見取図について理解し、かくことができるかどうかをみる。</p> <p>●球の直径の長さ立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができるかどうかをみる。</p>
<p>【変化と関係】 全国（公立）の平均正答率とほぼ同じ</p>	<p>○速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察できるかどうかをみる。</p> <p>○速さの意味について理解しているかどうかをみる。</p> <p>●道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる。</p>
<p>【データの活用】 全国（公立）の平均正答率を上回った</p>	<p>○円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることができるかどうかをみる。</p> <p>○簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理することができるかどうかをみる。</p> <p>○折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる。</p> <p>○示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断できるかどうかをみる。</p>

今後の指導で大切にしたいこと

学習指導要領の領域等	授業改善の視点
<p>【数と計算】</p>	<p>・数量の関係に着目したり、計算結果を振り返ったりすることで、計算の性質に気付き、計算の仕方を捉え直す機会になるようにする。</p>
<p>【図形】</p>	<p>・直方体において、平行関係にある辺は、見取図でも平行にかく必要があることを正しく理解するために、三角定規を用いて調べる時間を十分にとるようにする。</p>
<p>【変化と関係】</p>	<p>・フラッシュカード等を活用することで九九の習得を図り、さらに九九を活用することで乗法・除法が正確に計算できるようにする。</p> <p>・自分の考えを説明したり、意見を交流したりする機会を充実させ、言葉や数に着目できるようにすることで、「速さ」を「道のり÷時間」で表すことの意味を理解することができるようにする。</p>
<p>【データの活用】</p>	<p>・各教科の授業において、学んだことを表やグラフに整理する機会を増やすことで、より効果的に分類整理することができるようにする。</p> <p>・ICT機器を活用し、情報をグラフで提示する機会を増やすことで、様々なグラフが身近で分かりやすいものであることを感じられるようにする。</p>

② 中学校

ア 国語(15問)

出題問題について

○・・・良好な内容 ●・・・課題と考えられる内容

<p>【言葉の特徴や使い方に関する事項】 全国(公立)の平均正答率を上回った</p>	<p>○文の成分の順序や照応について理解しているかどうかをみる。 ○文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる。 ○表現の技法について理解しているかどうかをみる。</p>
<p>【情報の扱い方に関する事項】 全国(公立)の平均正答率とほぼ同じ</p>	<p>○意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる。 ●具体と抽象など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる。</p>
<p>【我が国の言語文化に関する事項】 全国(公立)の平均正答率を上回った</p>	<p>○行書の特徴を理解しているかどうかをみる。</p>
<p>【話すこと・聞くこと】 全国(公立)の平均正答率を下回った</p>	<p>●必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることができるかどうかをみる。 ●資料を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように話すことができるかどうかをみる。 ●話合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。</p>
<p>【書くこと】 全国(公立)の平均正答率を上回った</p>	<p>○目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる。 ○表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができるかどうかをみる。</p>
<p>【読むこと】 全国(公立)の平均正答率を下回った</p>	<p>○目的に応じて必要な情報に着目して要約することができるかどうかをみる。 ●文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができるかどうかをみる。 ●文章の全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えることができるかどうかをみる。 ●短歌の内容について、描写を基に捉えることができるかどうかをみる。</p>

今後の指導で大切にしたいこと

学習指導要領の領域等	授業改善の視点
<p>【言葉の特徴や使い方に関する事項】</p>	<p>・既習の漢字について、ドリル等を活用しながら繰り返し練習したり、読書活動を充実させたりすることで、日常生活の中で漢字に触れる機会を増やし、正しく書くことができるようにする。</p>
<p>【情報の扱い方に関する事項】</p>	<p>・情報収集の際、目的をもって相手に質問して必要な情報を得るために、事前に聞きたいことを整理するなどして、知りたいことを明確にして臨むようにする。</p>
<p>【我が国の言語文化に関する事項】</p>	<p>・古典の文章の内容を概括したり、古典の文章に関する様々な事柄に触れたりする際には、分かりやすい現代語訳や古典について解説した文章を教材に加えるなど、指導する内容や生徒の実態に応じた工夫を取り入れる。</p>
<p>【話すこと・聞くこと】</p>	<p>・日常から相手意識や目的意識をもたせて文章を書く活動を取り入れ、相互評価することで、自分の文章を推敲する時間を設定する。</p>

【書くこと】	・言語活動を意図的に取り入れ、目的意識をもった上で、集めた材料の客観性や信頼性を確認することで、根拠の妥当性を考えて意見を伝えるようにし、情報を取捨選択できる力を育成する。
【読むこと】	・教科書等を活用し、図やグラフの役割を意識して本文を読む機会を増やすことで、情報と情報との関係を理解して文章の展開を捉える力の向上を図る。

イ 数学 (16 問)

出題問題について

○・・・良好な内容 ●・・・課題と考えられる内容

学習指導要領の領域等と結果	出題の趣旨
【数と式】 全国（公立）の平均正答率を <u>上回った</u>	○連続する二つの偶数を、文字を用いた式で表すことができるかどうかをみる。 ○問題場面における考察の対象を明確に捉え、正の数と負の数の加法の計算ができるかどうかをみる。 ○統合的・発展的に考え、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる。 ●等式を目的に応じて変形することができるかどうかをみる。 ●目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる。
【図形】 全国（公立）の平均正答率を <u>下回った</u>	○回転移動について理解しているかどうかをみる。 ●筋道を立てて考え、証明することができるかどうかをみる。 ●事象を角の大きさに着目して観察し、問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見出すことができるかどうかをみる。
【関数】 全国（公立）の平均正答率を <u>上回った</u>	○一次関数について、式とグラフの特徴を関連付けて理解しているかどうかをみる。 ○グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈することができるかどうかをみる。 ●二つのグラフにおける y 軸との交点について、事象に即して解釈することができるかどうかをみる。 ●事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる。
【データの活用】 全国（公立）の平均正答率を <u>下回った</u>	○簡単な場合について、確立を求めることができるかどうかをみる。 ○複数の集団のデータの分布から、四分位範囲を比較することができるかどうかをみる。 ●与えられたデータから最頻値を求めることができるかどうかをみる。 ●複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる。

今後の指導で大切にしたいこと

学習指導要領の領域等	授業改善の視点
【数と式】	・数に関する事象を考察する際、成り立ちそうな事柄を予想し、予想を確かめることで、事柄が成り立つ理由について筋道を立てて考えを説明することができるようにする。

【図形】	・図形の性質を考察する際、成り立つと予想した事柄について論理的に考察し、数学的に表現することができるようにする。
【関数】	・交流しながら事象を理想化したり単純化したりする機会を増やすことで、その特徴を捉え、数学的に解釈することができるようにする。
【データの活用】	・複数の集団のデータ分布に着目し、その傾向を比較して読み取り、伝え合う活動を通して、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるようにする。

(3) 無回答率

【状況】 ※全国（公立）の無回答率を下回った（無回答が少なかった）問題数

- ・小学校（国語）・・・14問中 13問
- ・小学校（算数）・・・16問中 16問
- ・中学校（国語）・・・15問中 15問
- ・中学校（数学）・・・16問中 16問

【今後の指導で大切にしたいこと】

- ・キーワードとなる言葉に印をつけながら文章を読んだり、自分の意見を伝える機会を増やしたりすることで、自信をもって回答することができるようにする。
- ・自力で思考したり、判断したりする活動や読書活動を増やし、定期的に振り返る機会を設定することで、相手の考えを読み取る力を身に付けることができるようにする。
- ・複数のグラフを比較したり、変化のようすを読み取ったりする活動を増やし、資料の見方や活用の仕方に慣れ親しむことで、記述式の問題に回答することができるようにする。
- ・自分の考えを、ICT機器を用いて表現したり、条件を満たす短作文を書いたりする機会を増やすことで、書くことに対する抵抗をなくしていけるようにする。

(4) 質問調査（小豆島町の課題としている項目）

① 児童生徒に対する調査（肯定的回答の割合）

ア 自尊意識について

【状況】

【質問9】自分には、よいところがあると思いますか

小学校・・・全国（公立）を下回った

中学校・・・全国（公立）を下回った

【質問10】先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか

小学校・・・全国（公立）を上回った

中学校・・・全国（公立）を下回った

【質問11】将来の夢や目標を持っていますか

小学校・・・全国（公立）を上回った

中学校・・・全国（公立）を下回った

【今後の指導で大切にしたいこと】

- ・教職員の「褒める」、「認める」ことを大切にされたかわりや、児童生徒が自己のよさや成長を味わうことができるような場の工夫を継続する。
- ・小さな成功体験を積み重ねることで、繰り返し成就感を味わうことができるようにしたり、自分や友達のよいところを見つける機会を設けたりすることで、自尊感情を高めるようにする。

イ 規範意識等について

状況

【質問 12】人が困っているときは、進んで助けていますか

小学校・・・全国（公立）を下回った

中学校・・・全国（公立）を下回った

【質問 13】いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

小学校・・・全国（公立）を上回った

中学校・・・全国（公立）を上回った

【質問 15】人の役に立つ人間になりたいと思いますか

小学校・・・全国（公立）を上回った

中学校・・・全国（公立）を上回った

今後の指導で大切にしたいこと

- ・道徳や学活、総合的な学習の時間等において、人とのかかわりを大切にし、積極的に体験的な学習を取り入れるようにする。
- ・いじめの背景についてみんなで考え、いじめはどのような理由があろうと許されないものであることを理解できるようにする。
- ・自己決定の場を大切に、児童会や生徒会等において、自分たちで話し合い、決定していく経験を積むようにする。

ウ コミュニケーション能力について

状況

【質問 17】自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか

小学校・・・全国（公立）を下回った

中学校・・・全国（公立）を下回った

【質問 29】5年生までに（1、2年生のときに）受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか

小学校・・・全国（公立）を下回った

中学校・・・全国（公立）を下回った

【質問 33】学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか

小学校・・・全国（公立）とほぼ同じ

中学校・・・全国（公立）を下回った

今後の指導で大切にしたいこと

- ・児童生徒による主体的な学習を目指し、自分の考えを表現したり、交流したりする機会を設けることで、自分の考えを広げたり、深めたりする経験を積むことができるようにする。
- ・道徳や学活、総合的な学習の時間等において、友達の見解について考える機会を設けることで、自分の意見と友達の見解を比較して考えることのよさを実感できるようにする。

エ 学習に関する関心・意欲について

状況

【質問 42】 国語の勉強は好きですか

小学校・・・全国（公立）を下回った

中学校・・・全国（公立）を下回った

【質問 43】 国語の勉強は大切だと思いますか

小学校・・・全国（公立）を下回った

中学校・・・全国（公立）を下回った

【質問 44】 国語の授業の内容はよく分かりますか

小学校・・・全国（公立）を下回った

中学校・・・全国（公立）とほぼ同じ

【質問 45】 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

小学校・・・全国（公立）とほぼ同じ

中学校・・・全国（公立）を下回った

【質問 50】 算数（数学）の勉強は好きですか

小学校・・・全国（公立）を下回った

中学校・・・全国（公立）を下回った

【質問 51】 算数（数学）の勉強は大切だと思いますか

小学校・・・全国（公立）を下回った

中学校・・・全国（公立）を下回った

【質問 52】 算数（数学）の授業の内容はよく分かりますか

小学校・・・全国（公立）を下回った

中学校・・・全国（公立）を下回った

【質問 53】 算数（数学）の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

小学校・・・全国（公立）とほぼ同じ

中学校・・・全国（公立）を上回った

【質問 58】 理科の勉強は好きですか

小学校・・・全国（公立）を下回った

中学校・・・全国（公立）を下回った

【質問 61】 英語の勉強は好きですか

小学校・・・全国（公立）を下回った

中学校・・・調査なし

【質問 62】 英語の勉強は大切だと思いますか

小学校・・・全国（公立）を下回った

中学校・・・調査なし

【質問 63】 英語の授業の内容はよく分かりますか

小学校・・・全国（公立）を下回った

中学校・・・調査なし

今後の指導で大切にしたいこと

- ・教科への関心・意欲を高めるために、効果的にICT機器を活用したり、自分で考え、取り組むことができる児童生徒主体の授業づくりを進めたりするようにする。
- ・生活と関連する学習課題の設定や言語活動の充実、習得した知識・技能の活用を図る学びの場の設定等、児童生徒が「分かる」、「できる」と実感できるように、授業改善を進めるようにする。
- ・振り返りの場を設定することで、自分の伸びに気付いたり、見通しをもって次時の学習に取り組んだりすることができるようにする。

オ 家庭における学習習慣等について

状況

【質問 21】学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

小学校・・・「2時間以上」の回答が、全国（公立）を下回った

中学校・・・「2時間以上」の回答が、全国（公立）を下回った

【質問 22】土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

小学校・・・「2時間以上」の回答が、全国（公立）を下回った

中学校・・・「2時間以上」の回答が、全国（公立）を下回った

今後の指導で大切にしたいこと

- ・授業で学習したことを活用する課題や、予習で取り組んだことが生かされる授業を設定することで、家庭学習と授業での学習内容を関連付けるようにする。
- ・キャリア教育を充実させることで、自分の将来について考え、目標に向かって主体的に学習する習慣が身に付くようにする。

カ 情報教育について

状況

【質問 4】学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）

小学校・・・「2時間以上」の回答が、全国（公立）を下回った

中学校・・・「2時間以上」の回答が、全国（公立）を上回った

【質問 27】5年生までに（1、2年生のときに）受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか

小学校・・・「週3回以上」の回答が、全国（公立）を上回った

中学校・・・「週3回以上」の回答が、全国（公立）を上回った

【質問 28】5年生までの（1、2年生のときの）学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか

(1) 自分のペースで理解しながら学習を進めることができる

小学校・・・全国（公立）を下回った

中学校・・・全国（公立）を上回った

(2) 分からないことがあった時に、すぐ調べることができる

小学校・・・全国（公立）を上回った

中学校・・・全国（公立）を上回った

(3) 楽しみながら学習を進めることができる

小学校・・・全国（公立）を上回った

中学校・・・全国（公立）を上回った

(4) 画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる

小学校・・・全国（公立）を上回った

中学校・・・全国（公立）を上回った

(5) 自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる

小学校・・・全国（公立）を上回った

中学校・・・全国（公立）を上回った

(6) 友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる

小学校・・・全国（公立）を上回った

中学校・・・全国（公立）を上回った

(7) 友達と協力しながら学習を進めることができる

小学校・・・全国（公立）とほぼ同じ

中学校・・・全国（公立）を上回った

今後の指導で大切にしたいこと

- ・児童生徒の資質・能力の育成に向けて、ICT機器を効果的に活用することで、「個を活かす協働的な学び」と「個に応じたきめ細かな指導」を一体化させていくようにする。
- ・生徒が有用感を感じながら学力を高められるように、ICT機器の利活用の工夫、改善を図るとともに、情報モラル教育やデジタルシティズンシップ教育を推進していくようにする。

② 学校に対する調査（肯定的回答の割合）

ア 校内研修について

状況

【質問16】授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

小学校・・・全国（公立）を上回った

中学校・・・全国（公立）を上回った

【質問18】個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか（オンラインでの参加を含む）

小学校・・・全国（公立）を上回った

中学校・・・全国（公立）を上回った

今後の指導で大切にしたいこと

- ・ICT機器の効果的な活用を含めて研修を充実させ、実践することで、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進めていくようにする。

イ 生徒指導等について

状況

【質問7】調査対象学年の児童（生徒）は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

小学校・・・全国（公立）を下回った

中学校・・・全国（公立）を上回った

【質問8】スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、児童（生徒）が相談したい時に相談できる体制となっていますか

小学校・・・全国（公立）を下回った

中学校・・・全国（公立）を上回った

【質問21】各児童（生徒）の様子を、担任や副担任だけでなく、可能な限り多くの教職員で見取り、情報交換をしていますか

小学校・・・全国（公立）とほぼ同じ

中学校・・・全国（公立）とほぼ同じ

今後の指導で大切にしたいこと

- ・児童生徒との触れ合いを大切にし、言動や表情など様々な角度から思いや考えをくみ取ることで、一人一人を大切にしたい生徒指導を進めていくようにする。
- ・教育相談を定期的実施するとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用等、校内の教育相談体制を整えるようにする。
- ・なかまづくりを大切にし、安心して自分の気持ちを伝えることができる支持的風土を培うようにする。
- ・集団生活を通して、ルールの大切さに気付くことができるようにするとともに、児童会・生徒会、学級会などの機会を捉えて、ルールについて児童生徒が主体的に考えていく場を設定するようにする。

ウ 特別支援教育について

状況

【質問 小 65/中 69】児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか

(3) 特別な支援を要する児童（生徒）に対する学習活動等の支援

小学校・・・「週3回以上」の回答が、全国（公立）を**上回った**

中学校・・・「週3回以上」の回答が、全国（公立）を**上回った**

【質問 小 67/中 71】学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の児童（生徒）に対する授業の中で、児童（生徒）の特性に応じた指導上の工夫（板書や説明の仕方、教材の工夫等）をどの程度行いましたか

小学校・・・全国（公立）を**上回った**

中学校・・・全国（公立）を**上回った**

今後の指導で大切にしたいこと

- ・授業だけでなく、学校生活全体を通して、児童生徒の特性に応じた合理的配慮が行われるよう、教職員が情報を共有するとともに、校内体制づくりを進めていくようにする。
- ・個別の教育支援計画を有効に活用することで、本人や保護者の願いをもとに、将来を踏まえた教育活動を行っていくようにする。

※ 令和6年度全国学力・学習状況調査の問題・正答例・解説資料等については、国立教育政策研究所のホームページをご参照ください。